

財団法人 堀江オルゴール博物館通信

第9号 2009年12月22日発行 文責 中田

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園4番町7-1

TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110

http://www.orgel-horie.or.jp/ Email info@orgel-horie.or.jp



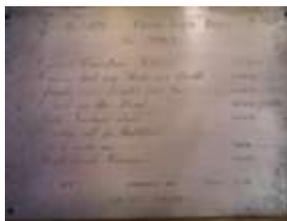
クリスマスキャロル

毎年12月になると街でクリスマスキャロルが流れます。オルゴールで奏でるキャロルも人気です。オルゴールの音色が神聖なクリスマスのイメージと合うからでしょうか。

クリスマスキャロルは13世紀には存在していて、合唱歌として歌われていました。14世紀～15世紀はクリスマスキャロルの黄金時代と言われ500編の歌詞と百数十曲のメロディが残されています。当時のクリスマスキャロルは、教会音楽と必ずしも結びつくものではなく、ルネサンス期には収穫の季節やクリスマス、祝祭日を祝う民衆的な宗教歌として歌われていました。クリスマスを祝う歌が多いことから後にキリスト教会が教会音楽の一端として取り入れていきました。16世紀の宗教改革で教会の弾圧とともにキャロルも衰退していきましたが、イギリスの田園地方では静かに歌い継がれていました。19世紀にキャロルの復興運動が始まると、イギリス各地に伝承されていたキャロルが採譜され、既存のキャロルに新しい編曲がされたり、新曲も書かれるようになりました。今ではクリスマスに歌われる讃美歌や伝承曲、ポピュラー音楽を総称してクリスマスキャロルと呼んでいます。

ビクトリア時代の Hymn Box

ビクトリア時代、イギリスの裕福な家庭では毎週日曜日は家族が集まって礼拝を行うのが習慣でした。その時に使われたのがこのHymn Boxです。Hymn Boxは一家の主だけが操作できるものでした。そのためアンティークのHymn Boxは保存状態の良いものが多く残されています。



1903年 スイス製 オルゴール
8曲入り チューンシート

オルゴールと讃美歌 Hymn Box

Hymn Boxは、19世紀後半に作られた讃美歌やオラトリオのアリアが入ったシリンダーのことです。インターチェンジャブル(シリンダー交換タイプ)に多く見られます。主にコードで構成された讃美歌はオルゴールには合わないと思われていましたが、腕のいい編曲者によってトリルやグリッサンドなどの装飾音を付けることにより、素晴らしい曲に変わりました。古い教会音楽からよく歌われた讃美歌まで幅広く選曲されています。

1. 賛美歌 379番 見よや十字架の旗高く サリバン作曲
2. オラトリオ「メサイア」より 私は知る、私をあがなう者は生きておられる ヘンデル作曲
3. オラトリオ「テオドラ」より 英知と公正の天使たちよ ヘンデル作曲
4. オラトリオ「エアリア」より 汝、主のみ前に口をつぐみ忍びて、主を待ち望め
メンデルスゾーン作曲
5. オラトリオ「天地創造」より 野原は緑に覆われた姿で喜びを与え ハイドン作曲
6. 讃美歌 111番 神の御子は今宵しも
7. 讃美歌 39番 日暮れて四方は暗く
8. オラトリオ「メサイア」より ハレルヤコーラス ヘンデル作曲

2010年1月のプログラムご案内



「オルゴールのお部屋」

1月3日(日)～31日(日)

但し1月4日(月)、12日(火)、18日(月)、25日(月)は休館
あれも、これも、みんなオルゴール！？
お部屋の中の小物、実はオルゴールなんです。。



年末年始の休館について

年内は12月25日(金)まで開館致します。

新年は1月3日(日)から開館致します。

但し1月4日(月)は休館です。



2009

2009年は新しいことへのチャレンジの年でした。オルゴール以外の自動演奏楽器などにも注目し、特別演奏会という形で皆様に聴いて頂くことが出来ました。また、ニコライ二世のオルゴールも特別演奏会でその歴史的背景の解説とともに音色をお聴き頂きました。2009年最後のイベントはイブニングプログラムです。夜景を見ながらのオルゴール演奏をお楽しみ下さいませ。2010年も楽しいプログラム、特別演奏会を企画して皆様のご来館をお待ち致しております。2010年も堀江オルゴール博物館をよろしくお願い致します。



2010

オルゴール博物館ニュース



今年もスタッフの手によって大きなリースが玄関に登場しました。

ロビーには本物のモミの木に可愛い電飾と飾りが付けられ、ご来館される方皆様に喜んで頂いています。

